

校番	8	ホームルーム活動	○	生徒会活動	学校行事	別紙様式2
----	---	----------	---	-------	------	-------

令和3年度生徒指導サポート実践校「特別活動の取組事例」

学校名	広島県立三原東高等学校	校長	前田 節子	生徒指導主事	信実 義尚
-----	-------------	----	-------	--------	-------

取組事例名 『特別活動における生徒の自己肯定感を高める取組』

取組における育てたい資質・能力					
人間関係形成		社会参画		自己実現	
「協働力」	3	「課題対応力」	2	「自己肯定感」	1

取組のねらい

- (1) 特別活動を通して生徒の自己肯定感を高め、生徒が学校生活を意欲的に送る。
- (2) 生徒会活動を中心にして、生徒の主体性を育成する。

取組の具体的内容	取組の創意工夫 キーワード：『出会いを大切に』
----------	----------------------------

- (1) 学校生活への目標をもたせる取組
 - ① 「東高ループリック」(学校生活のループリック)
 - ・ループリックを各HR教室に掲示し、生徒にとっての行動指針を「見える化」した。
 - ② 「成長をふりかえるシート」
 - ・生徒会学校行事(1学期：楠木祭(文化祭))の際に、自分が「成長した」と思う割合を10段階で評価し、できた(できるようになった)ことを振り返らせ、自分自身の成長に気付かせる機会を設定した。
- (2) 生徒主体の行事運営
 - ① 生徒会執行部によるオープンスクールの運営(10月)
 - ・「三原東高校魅力発信PT(プロジェクトチーム)」を発足させ、2年生2名(ボランティア)が学校紹介を担当し、中学生に本校の特色をPRした。
 - ② 縦割りLHRの実施(12月)
 - ・「より良い人間関係を築くために必要なことは何か」をテーマに、異学年縦割りグループで討議を実施した。

- (1) 執行部が生徒スローガン「出会いを大切に」を設定し、生徒総会で提案した。
- (2) 生徒同士が刺激しあい、「やる気」を起こすことをねらい、生徒会執行部を中心に、生徒に任せる機会を設定した。



魅力発信PTによる学校紹介

取組の成果と課題

- (1) 「成長をふりかえるシート」の集計結果は、楠木祭(文化祭・6月):5.9(10段階)であった。生徒の自由記述には、「相手の事を思って考えることができるようになった」「先の事を考えて行動できるようになった」などがあった。特別活動は、生徒全員が前向きに参加でき、成長も期待できる機会となっており、学校行事を通じての成長を生徒自らが自信につなげることができた。
- (2) 「魅力発信PT」では、運営スタッフとしてボランティア9名が執行部とともに運営に参画した。
- (3) 学校行事は生徒全員が前向きに参加できる機会となるため、「成長をふりかえるシート」を活用して、できたこと・できるようになったことを言語化し、教員がそれを認めることで、生徒の自己肯定感を高め、教員と生徒の信頼関係が築けるように取組を工夫する。